

〔仮訳〕

ロシアによるウクライナへの軍事的侵略に対応した 行動の呼びかけ

我々は、ロシア連邦による、ウクライナに対するいわれのない大規模な侵略行為を受け、各国の交通大臣として、ウクライナへの連帯と支援を表明するため、ここに集った。

我々は、ウクライナ国民及び民主的に選出された政府との揺るぎない連帯を示し、平和と安定の回復を願い、一致団結している。

我々は、ロシア連邦に対し、軍事的侵略を直ちに停止し、全ての軍隊を、ウクライナ的全領土から、国際的に認められた、自国の国境まで撤退させることを求める。我々は、ロシアの侵略に対する各国の圧倒的な対応を歓迎し、他の国々にもウクライナを支持する声を上げるよう促す。ロシア連邦の意図的な民間人及びインフラへの攻撃は、計り知れない人命の損失、人的被害、第二次世界大戦後、最も急速な難民数の増加、ウクライナの都市、地方及びウクライナ経済への恐ろしい被害をもたらしている。20世紀に目にした悪事が21世紀のヨーロッパで起こらないことが、我々の願いであった。

我々は、国連総会、OECD 理事会、国際民間航空機関（ICAO）、国際海事機関（IMO）等の組織によるロシア連邦の行動への非難を想起する。我々は、積極的に人道支援を行ってきた団体による行動を称賛するとともに、すべての国々に対し、ロシア連邦が引き起こした人道的危機への対処を支援するよう、呼びかける。我々は、交通による難民及び人道支援という形で、ウクライナへの支援に直接携わっている ITF 加盟国に対し、感謝と支持を表明する。

我々は、ベラルーシ政府の支援を受けたロシア連邦によるウクライナに対する侵略について、明白な国際法違反であり、ルールに基づく国際秩序に対する深刻な脅威であるとして、最も強い言葉で非難する。さらに我々は、一般市民に対して行われた凶悪な行動及び残虐行為について、国際人道法の明白な違反であるとして、断固として非難する。その行為に対しては、独立した調査が早急に必要である。犯された罪に対する説明責任が確保されなければならない。

交通ネットワークを含むインフラを標的とした破壊は、ITF が築き上げられた基盤そのものに対する攻撃である。ITF とその加盟国は、社会・経済の成長と住民の幸福に貢献するため、交通分野の発展を育成・促進する立場にある。したがって、我々は、ロシア連邦およびベラルーシ政権との ITF におけるすべての協力を終了することを約束し、2021 年 5 月 4 日の ITF 交通運営理事会の臨時会合において承認された、組織内における彼らの参加を大幅に制限する最初のステップを称賛する。

我々は、今日我々が直面している、前例のない状況の変化に対応するため、ITF 一般規則を適合させる必要があることを認識する。我々は、将来、未曾有の事態に対処できるよう、ITF の組織を強化し、より柔軟性を持たせる形で、ITF 一般規則を再検討し、さらに発展させることを約束する。

ロシア連邦のウクライナに対する軍事的侵略は、我々の最大の関心事であるが、ITF 加盟国の交通大臣は、より良い交通政策を通じ、国民の生活を向上させるという共通の目的を持ち、今日、グローバル・フォーラムに集った。我々は、ITF が行っている重要な活動や、我々が全面的に支持している政策を見失ってはならない。これには、交通関連の CO2 排出を除去するという究極の目標に向けた交通の脱炭素化、安全・セキュリティ・包摂性を高めるための交通システムの設計の改善、サプライチェーンの再活性化と交通ネットワークの効率を最大化するための技術革新の促進が含まれる。我々は、ITF 事務局に対し、交通システム・ネットワークの強靱性と信頼性に関する取組を強化するよう求める。

我々は、ITF に対し、その専門知識と分析能力を活用し、民主的に選出されたウクライナ政府と、ウクライナの交通システムとインフラの復興に参加する人々を支援するよう求める。我々は、特に食糧危機を防ぐために必要な農産物に関する、国際貿易の再開に向け、ウクライナの貿易ルート及び黒海の港湾を利用可能とするために共同で努力する必要性を強調する。

我々は、各国の交通大臣として、この破壊的な戦争がまもなく終結し、ウクライナの復興が始まることを願い、すべての国々と国際的な交通コミュニティに対し、この呼びかけを支持することを求める。

ロシア連邦によるウクライナに対する軍事的侵略への行動の呼びかけへの署名国 (2022 年 5 月 18 日)

1. オーストラリア
2. オーストリア
3. ベルギー
4. ブルガリア
5. カナダ
6. チリ
7. コロンビア
8. チェコ
9. デンマーク
10. エストニア
11. フィンランド
12. フランス
13. ドイツ
14. ハンガリー
15. アイスランド
16. アイルランド
17. イタリア
18. 日本
19. ラトビア
20. リヒテンシュタイン
21. リトアニア
22. ルクセンブルク
23. マルタ
24. オランダ

25. ニュージーランド
26. ノルウェー
27. ポーランド
28. ポルトガル
29. 韓国
30. スロバキア
31. スロベニア
32. スペイン
33. スウェーデン
34. スイス
35. ウクライナ
36. 英国
37. 米国